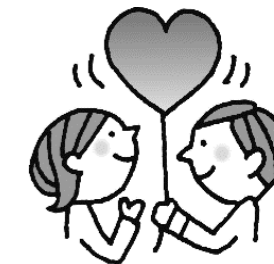




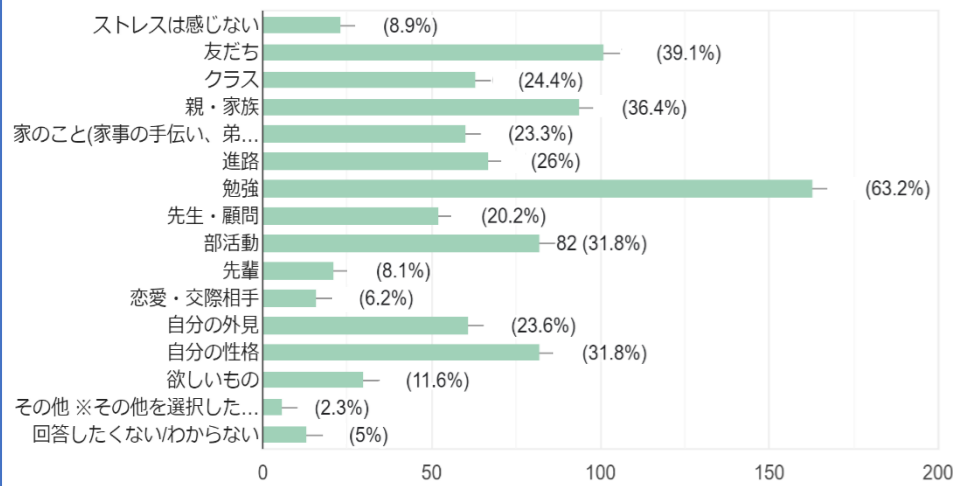
ココロとからだ特別号

令和6年3月18日 発行
川越町立川越中学校 保健室

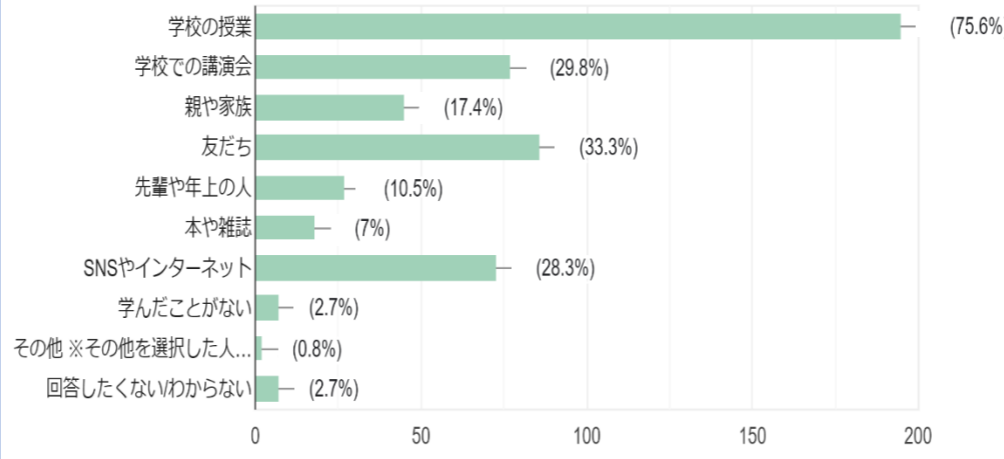
今、みなさんのところとからだは大きく成長し、大人へと近づいています。特に著しく変化するこの時期は、その変化に不安に
なったり、人との違いに悩んだり、もしかすると恋人との関係で悩んでいる人もいるかもしれません。
本日、三重北医療センターいなべ総合病院の産婦人科医 川村真奈美 先生に「性を学ぶことは、命の大切さを学ぶこと」について
講演をしていただきました。講演を聞いてみなさんはどのように感じましたか？ 感想は川村先生へお伝えしたいと思います。
事前にみなさんの関心や悩み事についてアンケートをとらせてもらった集計結果を発表します。



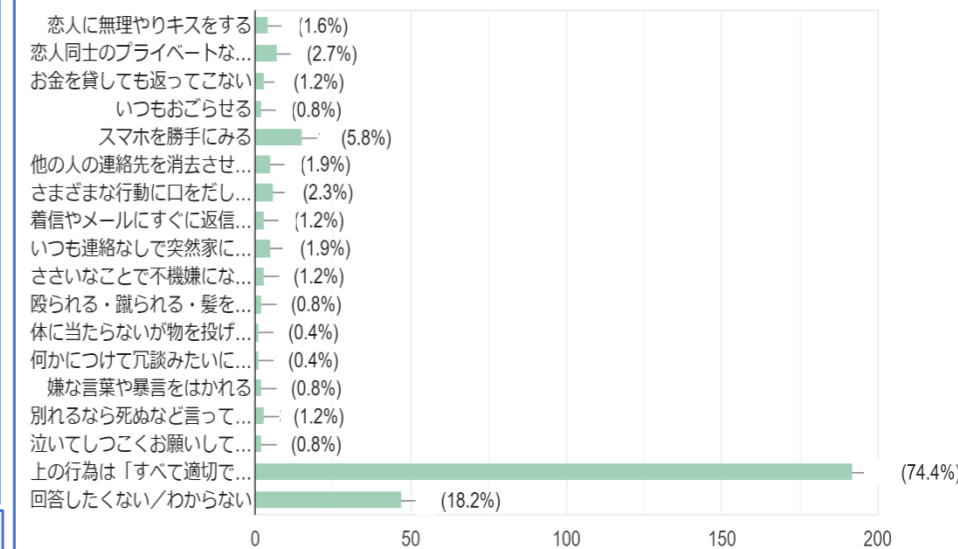
①あなたがストレスを感じる場合、その原因はなんですか？(複数回答可)



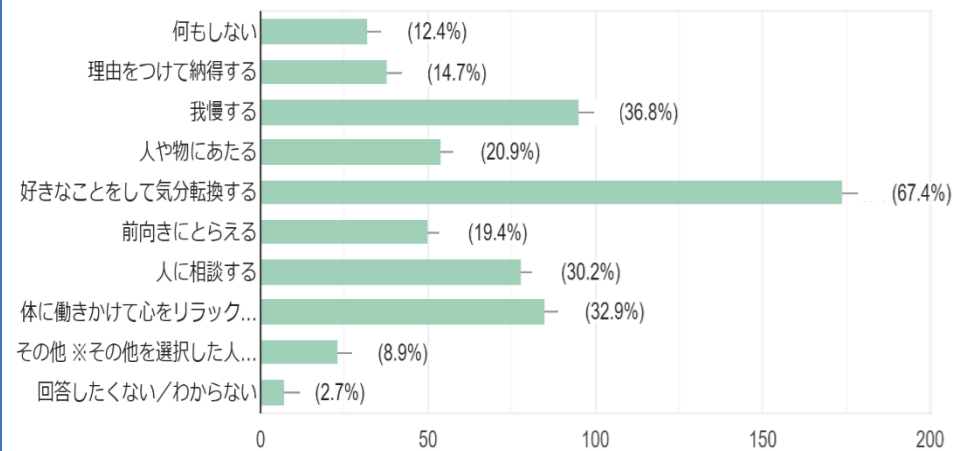
④あなたはこれまでに性教育や性について、誰から教わりましたか？(複数回答可)



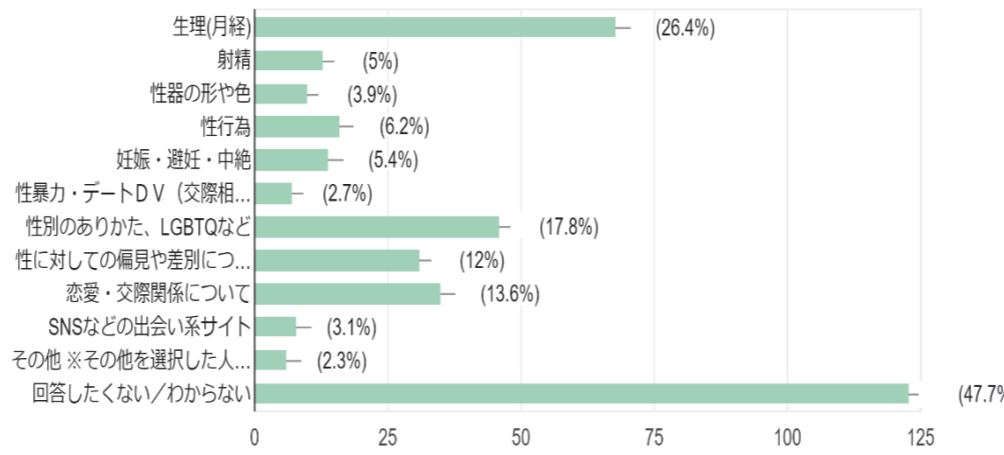
⑦恋人同士の関係性について、次の中で【適切】な行為と思うものを選んでください。(複数回答可)



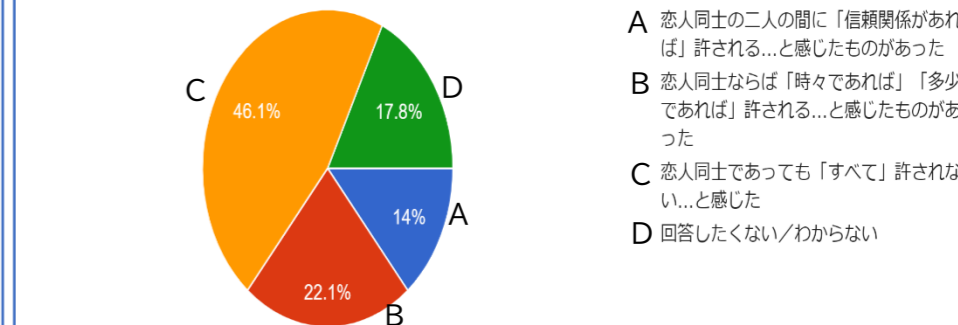
②あなたがストレスを感じた時の対処法はなんですか？(複数回答可)



⑤性について悩みや関心があるものはなんですか？(複数回答可)

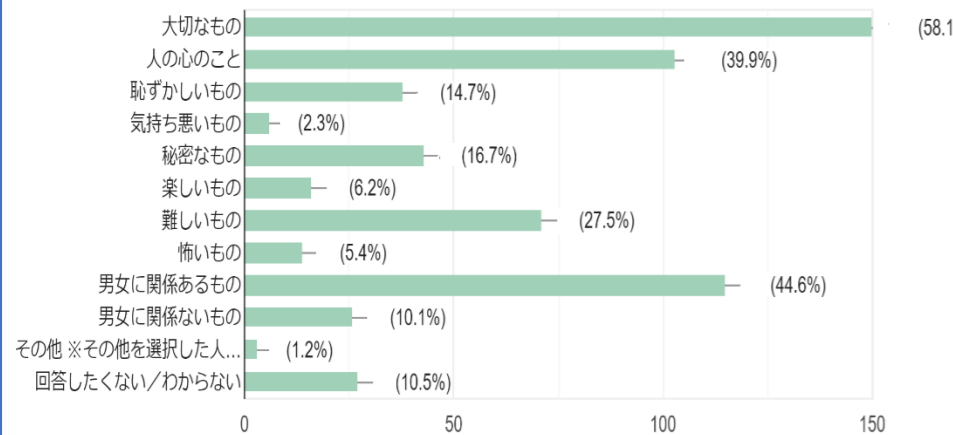


⑧ ⑦の回答をしていて、あなたが感じたことに最も近いものを1つを選んでください。

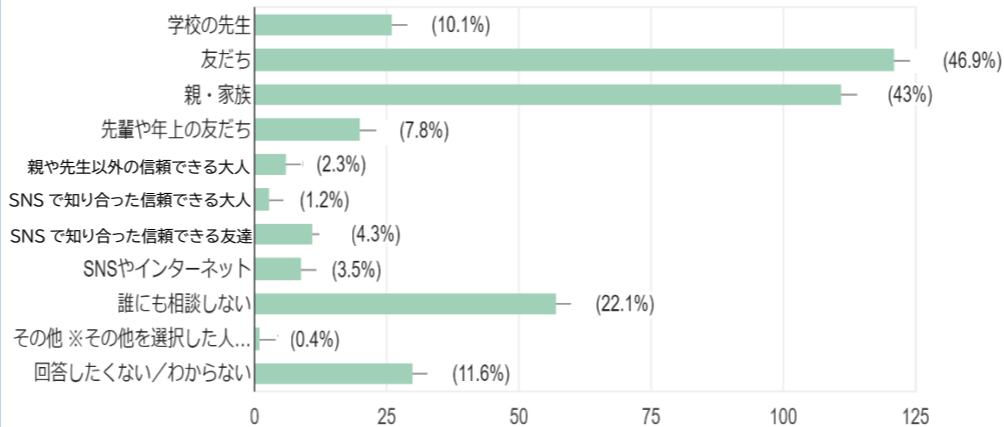


- A 恋人同士の二人の間に「信頼関係があれば」許される...と感じたものがあった
- B 恋人同士ならば「時々であれば」「多少であれば」許される...と感じたものがあった
- C 恋人同士であっても「すべて」許されない...と感じた
- D 回答したくない/わからない

③あなたにとって、性とはどんなイメージですか？(複数回答可)



⑥あなたがもし性の悩みがある場合、だれに相談できますか？(複数回答可)



みなさんは、アンケートの集計結果をみてどう思いましたか？

質問項目の【⑦恋人同士の関係性について【適切】だと思えるものを選んでください】については、さまざまなケースから適切な行為を選んでもらうものですが、あれらの行為は【すべて不適切】が答えです。多くのみなさんは、あれらの行為を【不適切】だと答えてくれていました。しかし、⑧の質問では、仲の良い恋人なら「信頼関係があれば」「時々なら」「多少なら」許されると回答した人が36.1%いました。【すべて許されない行為】ですので、自分の勝手な解釈で間違えないでください！

暴力や暴言が許されないのはもちろん、相手を思い通りにコントロールしようとする行為も許されるものではありません。このことを、しっかり覚えておきましょう。不適切な行為を許してしまうと、それがエスカレートしていくことがあり危険ですし、お互いが不幸になってしまいますよ。

本日の講演会でも、話題になりましたが、みなさんは、「デートDV」「性的同意」は理解できましたか？
これから大人になっていく中学生のみなさんには、ぜひ知っておいてほしいことですので、あらためて紹介します。

デートDVってなんだろう？

あなたには、つきあっている人がいますか？ たとえば、その相手のことを、「怖い」と感じたり一緒にいることが「つらい」と思ったりしたことはありませんか？

DV(ディーブイ/ドメスティックバイオレンス)とは、夫婦や恋人などの親しい関係の中でおこる暴力のことです。その中でも、交際中のカップルに起こる暴力を「デートDV」といいます。自分が安心したいがために、相手を束縛し、自分の都合に合わせて相手を行動させてしまうような心理状況です。傷つく言葉を言ったり、暴力をふるっていないくても、一方的に相手を自分の思い通りにしようとすることは「デートDV」になります。

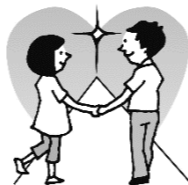
■もしあなたが、つきあっている人の言動で嫌だと思ふことがあったら、相手にきちんと自分の気持ちを伝えて、話し合うようにしましょう。
相手が変わらないときは、一人で悩んだり我慢したりせず、必ず誰かに相談しましょう。



■もしあなたが「デートDV」をしてしまっているかも…と思ったら、まずは相手がどんな気持ちか考えてみましょう。大切な人だからこそ、大切に尊重できるように、自分の感情や衝動をコントロールしてください。自分の“気持ち”は大切です。でも大好きな相手の“気持ち”を忘れないでください。

お互いを大切に思い合える相手だからこそその“交際関係”です。

どうぞ素敵なお付き合いをしてください。



【案内】HPV(ヒトパピローマウイルス)感染症とワクチン接種について

子宮頸がんは、毎年多くの女性から「いのち」と「未来」を奪っています。子宮頸がんになる人は、女性76人のうち1人、命を落とす人は女性300人のうち1人、治療の過程で子宮を失う人は年間1,000人いるとされています。ワクチン予防が効果的です。※詳細は厚生労働省「ヒトパピローマウイルス感染症～子宮頸がんとHPVワクチン」→



【HPVワクチン(子宮頸がんワクチン)の定期接種】

公費負担の対象者 ①小学校6年生から高校1年生相当の女子 ②平成9年度から平成19年度生まれの女子

※公費負担は令和7年3月末終了 ※①②以外の方は「任意接種」となり費用は、種類や病院で異なりますが自己負担は3回接種で4～11万円です。

ワクチンの効果 HPVワクチンを接種すると、子宮頸がんの原因ウイルスのうち、2・4価ワクチンは50～70%、9価ワクチンは80～90%の感染を予防することができます。性的接触で感染するため、性交経験前に接種することが最も効果的です

接種するにはどうすればいいの？ 定期接種の対象者であれば公費で接種することができます。16歳未満の方は保護者の同意が必要ですので、まずは保護者に相談してみましょう。

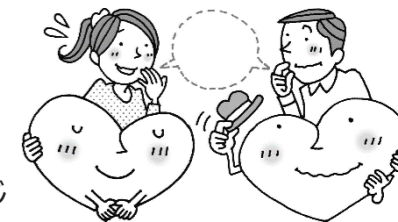


性的同意ってなんだろう？

「同意」とは、相手に許可を求めることです。「性的同意」とは、性的な行為に対して、お互いの気持ちをしっかり確認しあうことです。大切な人ができた時、その人と性的な接触をする前に、まず相手に同意を求めることが必要なのです。

ちなみに、壁ドンやスカートめくりは“性暴力”です。

断れない状態や立場を利用しての行為は、同意があったとは言えません。また、相手が交際相手や夫婦同士であっても同じように同意が必要です。



“デートのときに恋人と手をつなぐこともあったが、相手は嫌がっていないようだったし、明確に同意をとったことはないなあ…”など自分の経験を振り返った人もいることでしょう。「わざわざ同意は言葉で聞かないとダメ？」「性的ってどこから？」「恋人同士でも毎回確認が必要？」など疑問に思ったのではないのでしょうか？

セックスはもちろん、手をつなぐ、ハグやキス等すべての性的な行為の際に、お互いが積極的に望んでいるか気持ちを確認する「性的同意」は毎回必要です。

イギリス警察では、「性的合意(セックスの同意)」について、紅茶に例えて説明されることがあります。右のQRコードは、その動画(日本語版・ハートネット72)にリンクしています。性的合意(セックスの同意)が2分50秒にわかりやすくまとめられており、「性的合意」の意味にピンとこなかった人はぜひ視聴してください。



「紅茶を飲む？」と聞いて…

- ・相手が「いない」と言った
- ・最初は「いる」といったけど、用意をしている間に気分が変わって「いない」と言った
- ・先週末は「飲みたい」と言った相手が、今日は「いない」と言った



こんなときしてはいけないこと

- ・相手に紅茶を無理やり飲ませてはいけない
- ・飲まないといった相手を責めてはいけない
- ・心変わりしたことに逆ギレしてはいけない
- ・寝ているときや意識がないとき飲ませてはいけない

ほしくない人に紅茶を飲ませることが、どれほど無意味で馬鹿げたことか理解できますよね？ 相手が紅茶を飲みたいことが理解できるのであれば、セックスも同じです。紅茶もセックスも合意が全てなのです。相手の気持ちを尊重しましょう。

「性的同意」を得るとは、相手の心を尊重し、人権を尊重すること！